

シンポジウム「遺棄および老朽化学兵器の安全な廃棄技術」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 総合工学委員会
2. 共 催 化学工学会
3. 日 時 平成 20 年 9 月 5 日（金）13：00～17：30
4. 場 所 日本学術会議講堂（港区六本木）
5. 次 第

開催趣旨

中国に遺棄された化学兵器の廃棄処理が近く実施されることになり、また日本国内でも老朽化した化学兵器が発見され処理が継続して行われている。今回のシンポジウムでは、化学兵器の処理を安全に進める為に、処理に関する最近の技術進歩、とりわけ検知技術とヒ素の無毒化について紹介し、さらに救急医療やリスク評価と管理技術を含めて、実際の活用について論議することを目的とする。

開会あいさつ：古崎新太郎（東京大学名誉教授、日本学術会議連携会員）

I 講 演（13：10～16：30）

- 1) 遺棄化学兵器の処理計画（遺棄化学兵器処理担当室参事官 早川卓郎氏）
- 2) 化学剤の最新検知技術（九州大学教授、割石博之氏）
- 3) ヒ素の新しい廃棄技術（北里大学教授、山内博氏）
- 4) 健康への影響と救急医療（杏林大学教授、山口芳裕氏）
- 5) リスク管理法について（神戸製鋼主監、朝比奈潔氏）

II 総合討論（16：30～17：20）

閉会あいさつ：松岡 猛（宇都宮大学教授、日本学術会議連携会員）

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて必要事項（氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス）をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

化学工学会事務局 担当 三浦久紀

E-mail: miura@scej.org Fax: 03-3943-3530